

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	算数「偶数と奇数」
学年	小学校第5学年
目標	倍数や公倍数の意味や性質について理解したことを確認する。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	プログル
環境	児童用ノートPC40台を整備したPC教室を使用
都道府県	神奈川県相模原市
実施校	相模原市立弥栄小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>1 めあてを確認しよう 「ロボットに公倍数を言わせるプログラムをつくって、公倍数の求め方を確認しよう。」</p> <p>2 学んだ内容を復習しよう 「倍数とは、ある数に整数をかけたときの積である」 「倍数は、倍数のもとになる数でわったときにあまりが0になる」</p> <p>3 プログルの基本的な使い方を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題がどこに書かれているか、プログラミングが実行されている場所はどこか確認する ・ブロックのつなげ方、外し方、消し方、実行やリセットのしかたを知る。 ・うまく命令されていないときは、実行されている様子を見て再度命令を考えることを確認する <p>4 プログルの各ステージに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこが失敗している原因なのか考える ・難しいときは、1つ前のステージを見て指示の出し方を確認する。 <p>5 まとめ 今日の授業の振り返りをする。 「倍数・公倍数」の算数科の視点と「命令を正しく出せないのはなぜか」プログラミング的思考の双方から振り返る。</p>
成果と課題	<p>日頃の算数の授業と違い、児童の意欲がかなり高くなった。楽しみながら授業を行うことができた。反面、倍数・公倍数の理解が着実にできていない児童には、かなり難しい課題になってしまった。教育課程上仕方ないが、プログラミングに特化した授業があっても良いと思う。</p>

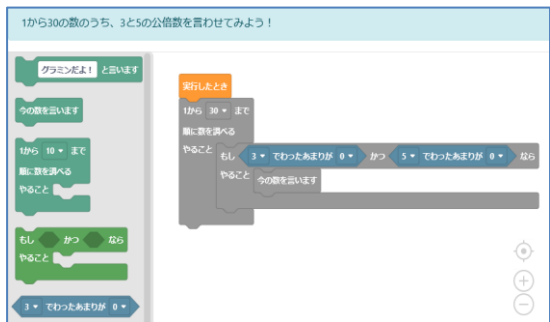


図 作成するプログラム